

高齢者自立支援に貢献 事業者を市が表彰

寝屋川市は11月2日、令和3年度に「短期集中通所型サービス」を提供した9事業者のうち、利用者サービス終了率が高かった上位3事業所を表彰した。

「短期集中通所型サービス」は、高齢者の介護予防と自立支援を目的として平成29年度から始まった事業。介護保険の要支援認定を受けた人を対象に、3か月という短期間、理学・作業療法士などが集中的にサポートし、生活機能や自己管理能力の改善・維持を目指す。



受賞したリハビリデイのお二人(左から)と広瀬市長

医療法人リハビリデイ河北の山田隆司さんは「地域に出てできることをやって行こう」という事務長の一言をきっかけに、この事業に試行錯誤で取り組んできました。培ってきたものを更に大きく育てて行きたい」と、受賞の喜びを語った。